

はじめに

京田辺市は、これまで都市部への交通利便性などの地理的特性を生かし、豊かな自然と都市機能が調和したまちづくりを進めてきたことから、良好な住環境、事業環境が整備され、人口増加とともに地域経済も発展を遂げてきました。



しかし、近年のグローバル経済の拡大、人口減少社会到来による国内需要の縮小、また長引く景気の低迷から、未だ回復の兆しが見えない状況にある地域産業においては、これまでのような自然的発展が難しくなっています。

このような状況を踏まえ、京田辺市の持続的な発展を目指し、中長期的視点による戦略的な産業振興施策を展開し、自立可能な地域経済基盤を確立するために、計画期間を10年間とする「京田辺市産業振興ビジョン」を策定いたしました。

本ビジョンでは、「事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち」を全体ビジョンとし、農業・商業・工業・観光のそれぞれの分野でのビジョンを示し、これを実現するための重点施策をアクションプランとしてまとめています。

京田辺市が将来にわたって発展し、「京田辺で事業を続けたい」「京田辺に住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるためには、市民、事業者、産業支援機関、行政が本ビジョンを共有しながら、それぞれの役割を担い、継続して取り組んでいくことが求められます。

平成28年度末には、新名神高速道路城陽八幡間が開通するほか、世界的な物流企業の進出が決定するなど、本市の発展に向けた好材料も揃っており、本ビジョンを基に京都府南部をリードするまちとしてさらに発展できるよう取り組んでまいります。

最後になりましたが、本ビジョンの策定にあたり、ご尽力を賜りました産業振興ビジョン推進委員の皆様をはじめ、アンケート調査、ヒアリング、パブリックコメントで貴重なご意見をお寄せいただきました事業者、産業支援機関、市民の皆様に対し、心からお礼申し上げます。

今後とも、皆さまの一層のご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。

平成28年3月

京田辺市長

石井明三